

日本共産党の原田完です。府会議員団を代表して、ただいま議題となっている議案8件に賛成の立場で討論いたします。

まず最初に、新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方々に心よりお悔やみを申し上げますとともに、いま闘病されている方々にお見舞い申し上げます。また、保健所をはじめとする各部局の府の職員の皆さん、医療関係等の従事者の皆さんの献身的な努力に感謝を申し上げます。

緊急事態は解除されましたが、引き続き感染防止対策、医療・検査体制の整備、暮らしや地域経済への対策などが必要です。わが党議員団は、5月7日に第三次の緊急申し入れを行い、中長期的な課題も含めた要望を行いました。ここに掲げた項目をはじめ、必要な施策の実現に向け、引き続き全力を挙げるものです。

その上で、新型コロナ対策として提案された第6号議案「令和2年度京都府一般会計補正予算」は必要な施策ではありますが、求められる規模や内容から見ればまだまだ不十分であり、今後の追加補正予算などを通じて、さらなる充実を求めるものです。

医療・検査体制では、妊婦に対するPCR検査の助成をはじめ、いずれも直面する課題の解決をめざすものです。4月補正予算に盛り込まれた医療従事者支援、特殊勤務手当や緊急手術患者のPCR検査なども含め、速やかな執行が求められます。また、多くの医療機関が厳しい経営を余儀なくされており、医療従事者の安全と暮らしを守り、地域医療の崩壊を絶対に起こさせないためにも、診療報酬の概算払い、資機材の支援やベッド確保への補償などを含め、手厚い経営支援が必要です。本来、国において抜本的な対策を講じるべきですが、本府としても、借り入れへの金利負担助成にとどまらず、さらなる支援を行うよう要望いたします。

フリーランスを含む中小事業者への支援では、中小企業等事業再出発支援補助金として、40億円の予算が計上されました。必要な経費を10万円まで補助するもので、これまで以上に幅広く利用できる制度となっています。京都府自身が受け付け、審査についても責任を持って行うと伺っており、ご苦労はあろうかと思いますが、よりいっそうのご奮闘を願うものです。一方、休業要請対象事業者支援給付金については、取引業者の休業等に伴って深刻な影響を受けた事業者をはじめ、対象とならない事業者から怨嗟の声が広がっています。4月補正予算に盛り込まれた京もの支援事業でも、最優先で守らなければならない希少技術の継承が蚊帳の外になっています。一件の廃業・倒産も生まない、一人の解雇者も出さないという立場で、幅広く支援の手が届く制度の拡充を求めるものです。

また、ようやく学校が再開されることになりましたが、障害のある児童・生徒をはじめ全ての子どもたちへの支援が必要です。気持ちに寄り添いながら慎重に授業を進めること、実態を把握して行き届いた教育を進めること、そのためにも教職員を大幅に増やし、少人数学級の実現を急ぐことを求めるものです。夏休みの短縮も検討されている下で、熱中症対策のためにも必要に応じてエアコンが使えるよう、学校運営費等の増額を求めておきます。

なお、避難所の新型コロナ対策は、必要とされる予算規模からは遠く及びません。さらなる支援の拡充が求められることを申し述べておきます。

次に、第7号議案「京都府新型コロナウイルス感染症対策応援基金条例制定の件」についてです。府民・事業者から募った寄附金を活用し、医療・療養の仕事に従事する方々や、学校休業等の影響を

受ける児童や家庭に対する支援経費に充てるものです。本来、国が責任を持って行うべきですが、府民の善意を受けとめ、その善意が生きる運用となるよう求めるものです。

なお、コロナ危機から文化と文化施設を守れと空前の世論と運動が起こっているさなかに、京都子ども文化会館の閉館方針が発表されたことは、文化・芸術の発展に逆行するものであり問題です。

最後に、今回の新型コロナウイルスの問題は、政治と社会のあり方について、抜本的な見直しを求めています。

この間政府は、国立感染症研究所の人員・予算を削減し、京都でも保健所の統合・縮小などが行われてきました。そのことが、感染防止対策に大きな困難を生み、現場職員に過重な負担をかける結果となったことは明らかです。

イギリスでは、新自由主義的施策から路線転換し、手厚い損失補てんの実施に踏み切りました。国や自治体が公衆衛生、医療、介護などの社会システムを守り、倒産・失業の危機から国民を守ることがスタンダードとなりつつあります。

日本でも、一律 10 万円の定額給付金に続き、アルバイト減少などで困窮する学生への支援も一部実現しました。国民が声を上げれば、政治は変わります。いのちと暮らし、なりわいを守ることができます。わが党議員団として引き続き奮闘する決意を述べて、討論といたします。ご清聴ありがとうございました。